

第108回全国高校野球選手権青森大会



5回、マウンドに集まる上北連合ナイン

上北連合 守備ミス痛く

○…上北連合（六ヶ所、七戸、野辺地、八学野西、三農恵拓）は、守備のミスから失点を重ね、無念の7回コールド負け。夏の2勝目の壁は高かったが、主将の中嶋星馬（六ヶ所）は「最後まで励まし合ってやりきれた」と学校の垣根を越えて集まった仲間をたたえた。

初回から守りが乱れ、2失点。二回も暴投と失策から1点を失った。五回も失策が失点につながり、引き離された。攻撃では7安打を放ったものの1点が遠かった。

5校それぞれのユニホームで挑んだ上北連合。週末の合同練習や合宿で切磋琢磨してきた。中嶋は「最後は一つになった。絆を感じるチームだった」と涙を浮かべた。